

## パーム油に係る調達ガイドライン

様々な商品に使用されているパーム油は、アブラヤシを原料としています。アブラヤシは一定以上の雨量がある赤道周辺で生育しますが、その農園開発が行われる際に気候変動対策や、生物多様性を維持する上で重要な役割を担う森林が伐採されていること等が問題視されています。こうした状況下、三菱商事は持続可能なパーム油を調達するべく、2004年からRSPO（※1）に加盟し、パーム油の生産に関連する環境や生態系の保全・人権・労働問題への取り組みを進めてきたと同時に、他RSPOメンバー企業との連携・協業を通じてサプライチェーン上の企業に向けてRSPO及びこれに準拠する持続可能なパーム油調達の重要性を発信してきました。

また、「パーム油に係る調達ガイドライン」を制定し、三菱商事の基本的な考え方を全世界のサプライヤーの皆様へお伝えし、以下に定める項目の取り組みを進めています。

※1「持続可能なパーム油のための円卓会議」の略。

1. RSPO加盟企業として、本会議に積極的に参画すること。
2. RSPO準拠パーム油の取り扱い量・比率を開示すること。
3. 児童労働、強制労働等といった人権侵害に関わっているパーム油の調達をしないこと。
4. 労働者の権利及び生物多様性に配慮した調達をすること。
5. 生産地の法令を守り、適切な手続きを経て生産された商品を調達すること。
6. 保護価値の高い（HCV）森林、炭素貯蔵量の多い（HCS）森林、泥炭湿地林の開発に関わるパーム油の調達をしないこと
7. 子会社、関係会社、及び顧客に対するRSPOへの取り組みを促進すること。
8. 上記を実現するためにRSPO他メンバー企業、サプライヤー、および第三者機関など様々なステークホルダーとの連携・協働すること。

今後も上記の取り組みを継続することに加えて、森林破壊ゼロ、泥炭地における新規開発ゼロ、先住民・労働者からの搾取ゼロ（NDPE: No Deforestation, No Peat, No Exploitation）を遵守するサプライチェーンの構築を目指すことで、持続可能なパーム油調達に取り組めます。

### ■「調達目標」

2030年までに持続可能性に配慮したパーム油（※2）100%取扱いを目標に掲げ、サプライチェーン上のステークホルダーとの連携・協働などを通じ、持続可能なパーム油の調達・供給に取り組んでいます。

※2 持続可能性に配慮したパーム油：RSPO乃至はそれに準ずる認証油を含む、NDPEポリシーを遵守するサプライチェーンから調達されたパーム油